

# 「北海道における小児等在宅医療の実際と 胆振大地震における在宅医療側からの経験」

講師：宮城 大雅 氏  
(ゆずりは訪問診療所医師)



現在、日本全国で医療的ケア児が10年で2倍、在宅人工呼吸器を装着している児は10倍となり、いまもなお増加し続けております。2016年に医療的ケア児が明文化されるようになり、医療、教育、福祉、保健の分野の連携促進、包括的ケアが推進され、小児等在宅医療が着目されるようになりました。小児等在宅医療において、NICUやPICU満床問題など病院の機能不全の解消や在宅医療をうけている子ども達への災害対策、トランジションへの対応など、問題は山積みであり今なお解決策ははず大きな課題となっています。

今回、北海道での小児等在宅医療の実際と胆振大地震で経験した在宅医療側からの対応に関してご報告し、みなで考えるきっかけとしたいと考えています。

日時 5月31日(金)  
19:30~20:30

場所 沖縄県立南部医療センター  
子ども医療センター  
2階 大講堂

入場無料。事前お申込みも必要ありません。  
直接ご来場下さい。